

宮城民医連職員の被災状況がでる

中間報告

3月11日発生した東日本大震災は、津波による甚大な被害と合わせて福島第一原子力発電所の事故による放射能被害も重なり、まさにわが国が経験したことのない大災害となりました。

震災直後から全国の仲間による支援活動が展開され、1か月経過した段階で1500人以上のご支援をいただきました。5月に入り救命救急的な支援から中長期的な復興支援を展望した支援活動に切り替えていく必要があります。宮城県・民医連震災対策本部と宮城民医連では全国からの物心両面での多大なる支援活動に感謝しながら5月からの復興支援の取り組みについての基本方向を確認しました。

- ① 宮城県内における震災被害の実態の把握と、民医連として復興支援のための地域要求の集約と運動化
- ② 松島と長町・若林地域に設置するセンターの状況把握と必要な調整
- ③ 各事業所が行う避難所支援や地域訪問
- ④ 坂総合病院をはじめ事業所支援（坂総合病院とつばさ薬局以外については4月末で終了）
- ⑤ その他、支援活動方針の提起と具体化 これら課題を現地職員、共同組織、全国からの支援者が一体となってすすめる 以上

宮城民医連職員の被災状況

4月12日現在 (宮城厚生協会以外は回収率100%)

	職員死亡	職員怪我	家族死亡行方不明	家屋甚大な被害	車両被害	備考
宮城厚生協会	1	9	22	49		回収率48%
松島医療生協	3	4		6	12	利用者死亡12人
みやぎ県南医療生協			3		1	
宮城厚生福祉会			3	2		
みやぎ保健企画			2			
宮城民医連事業協			2	3		
県連事務局			1	1		
合計	4	13	33	61	13	



深沼海水浴場では海に向かって祈る人が

深沼海岸付近で



深沼海岸から遠く蔵王方面を望む

砂漠のような大地から水仙の花が咲いた



深沼橋付近では遺体の捜索が続けられている

